

江戸時代の社会や文化を支えた人々

小学校高学年

ねらい 江戸時代に差別された人々のくらしぶりを調べ、当時の社会や文化を支えていた様子を理解するとともに、その生き方のたくましさやすばらしさに共感する。

気づく

社会を支え、文化を広げた人々

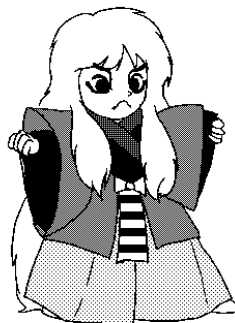
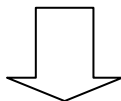
百姓や町人とは別にきびしく差別された人々が持っていたすぐれた技術を調べ、当時の生活とのつながりを考える。

(皮の加工による楽器づくり、雪駄や草履などはきものづくり、農業に必要なだった竹細工、井戸ほりや池ほり、石垣積み、薬草を生かした医療など)
江戸時代に盛んであった芸能の始まりや特徴を調べる。

留意点

- ・差別された人々が高い技術を持っていたことに気づかせるとともに、それぞれの仕事のすばらしさを感じ、当時の社会との関連を理解できるよう支援する。
- ・差別された人々が、当時の文化や社会を支えるためになくてはならない存在であったことに気づかせる。

技術を生かした作品の写真など
「江戸時代の被差別民衆」(明石書店)
能・狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃、萬歳のビデオや写真



広げる・深める

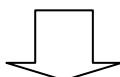
「解体新書」ができるまで

蘭学事始の「杉田玄白と虎松の祖父との出会い」を読む。
虎松の祖父の技術について話し合う。
虎松に出会いに行った杉田玄白の心情について考える。

留意点

- ・玄白の感動している様子に共感するとともに、虎松の祖父が持っていた技術のすばらしさを知ることができるようにする。

ターヘルアナトミアの解剖図など



計画する

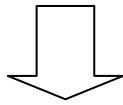
学んだことをまとめよう

学習のまとめをする。

留意点

- ・江戸時代の差別された人々の暮らしについて、社会や文化を支えていた様子を中心にまとめることを通して、自分の考えを持てるようにする。

壁新聞、小冊子、紙芝居など



実践する・振り返る

学習のまとめを発表しよう

班や個人でまとめたものを発表する。

留意点

- ・友だちの発表を聞くことを通して、理解を一層深めさせる。
- ・いろいろな人の評価を得ることで、自分たちの学習の成果を感じたり、課題を見つけたりする。

保護者参観の機会を設け、感想を書いてもらう。



【学習を進めるに当たって】

- ・ここに示したプログラムは、社会科の授業を中心に展開した場合の例である。
- ・歴史学習の中では、中世の内容とかかわる部分があるため、事前の中世の学習の中で、差別や偏見に立ち向かい、たくましく生きた人々の存在について十分指導をしておく必要がある。